

Nimblox

トレーサビリティ確立のための

温度センサ校正試験

のご案内



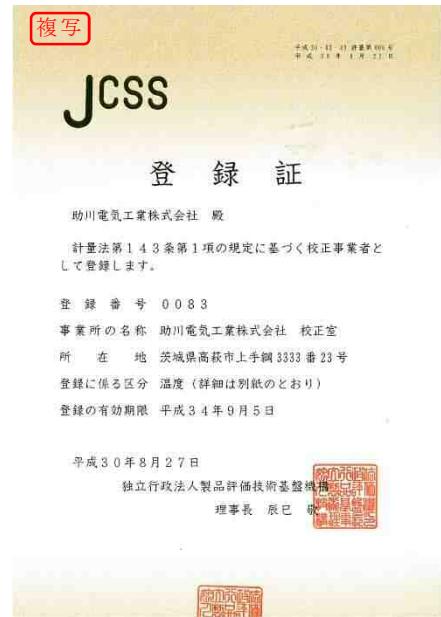
当社は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。当社校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者であり、JCSS 0083は、当社校正室の認定番号です。

助川電気工業株式会社

SUKEGAWA ELECTRIC CO.,LTD.

助川電気工業(株)校正室は
計量法に基づくトレーサビリティ制度の
登録事業者であって、国際 MRA 要求事項
にも対応している認定事業者です。

計量法に基づくトレーサビリティ制度は、一般
ユーザ等の持っている標準器や計量・計測器を国家
計量標準と jcass 校正で関連付けられた計量標準を所
有する登録事業者が JCASS 校正を行い、校正結果にど
の程度の不確かさがあり、国家計量標準（国際標準）
との繋がりが確保されているかということを確認に
する体系をいいます。



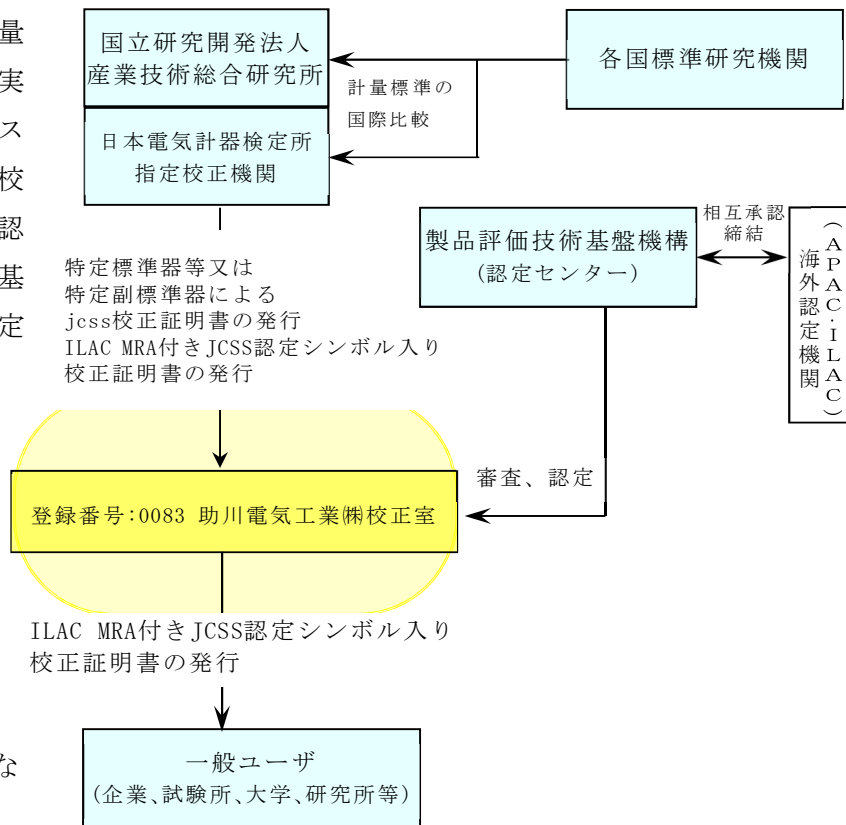
助川電気工業(株)校正室におけるトレーサビリティ体系

助川電気工業(株)は国家計量
標準にトレーサブルな校正を実
施する校正技術能力と品質シス
テム運営とが評価され、温度校
正における国際 MRA 対応 JCASS 認
定事業者として製品評価技術基
盤機構・認定センターより認定
を受けています。

広く一般ユーザからの
依頼に対して校正試験を
行い、ILAC MRA 付き JCASS
認定シンボル入り校正証
明書を発行致します。

この校正証明書は次のよう
な場合などに利用できます。

- ◆ ISO 9000 シリーズの品質システムを構成する文書の一部として利用できます。
- ◆ 取引上で相手方からの日本国内外でのトレーサビリティに係わる要求に対しての対応が可能で製品の信頼性がより高められます。
- ◆ 公的な証明書であるため対外的に利用することができます。



校正手法の区分・種類と校正範囲及び校正測定能力

校正手法 の区分の 呼称	種類		校正範囲	校正測定能力 ($k = 2$, 信頼の水 準約 95%)			
接 触 式 温 度 計	定点実現装置		水の三重点	2.5mK			
			スズ点	5.6mK			
			亜鉛点	7.0mK			
	抵抗温度計 (定点校正法)		水の三重点	3mK			
			スズ点	7.8mK			
			亜鉛点	10mK			
	抵抗温度計 (比較校正法)		-40℃以上 35℃以下	6mK			
			35℃を超え 200℃以下	9mK			
			200℃を超え 420℃以下	13mK			
	熱電対 (定点校正法)		R, S	スズ点	0.21K		
			B		0.48K		
			K, N, E, J, T		0.24K		
			熱電対 (比較校正法)		R, S	亜鉛点	R : 0.30K S : 0.20K
					B		0.30K
					K, N, E, J, T		0.46K
	熱電対 (比較校正法)		R	※ -40℃以上 420℃以下	0.2K		
			T		0.1K		
			K, E, J		0.2K		
			熱電対 (比較校正法)		R, S, B	※ 200℃以上 1100℃以下	0.6K
					K, E, J		0.7K
					N		0.6K
指示計器付 温度計 (比較校正法)		抵抗温度計		-40℃以上 200℃以下	0.018K		
				200℃を超え 420℃以下	0.020K		
		熱電対		-40℃以上 420℃以下	0.3K		
				200℃以上 1100℃以下	0.8K		

※タイプ T 校正範囲 -40℃以上 350℃以下

温度センサの一般依頼校正試験サービス

当社で行う温度センサの校正試験は、ILAC MRA 付き JCSS 認定シンボル入り校正試験とは別に各種の温度計を対象に広い範囲の一般依頼校正試験が実施可能です。

◆ 一般依頼校正試験一覧表

校正試験区分	校正センサ	校正温度		
定点校正	測 温 抵 抗 体	窒素の沸点 (-195.798℃)		
		酸素の沸点 (-182.954℃)		
		水の三重点 (0.01℃)		
		氷 点 (0.0℃)		
		インジウムの凝固点 (156.5985℃)		
		すずの凝固点 (231.928℃)		
		亜鉛の凝固点 (419.527℃)		
	熱 電 対	窒素の沸点 (-195.798℃)		
		酸素の沸点 (-182.954℃)		
		氷 点 (0.0℃)		
		インジウムの凝固点 (156.5985℃)		
		すずの凝固点 (231.928℃)		
		亜鉛の凝固点 (419.527℃)		
		アルミニウムの凝固点 (660.323℃)		
		銅の凝固点 (1084.62℃)		
		パラジウムの融解点 (1554℃) ^{※1}		
		比較校正	測 温 抵 抗 体	-100℃以上 500℃以下
			熱 電 対	-100℃以上 1500℃以下
指示計器付温度計	-100℃以上 1500℃以下			

◆ 一般依頼校正試験における校正可能な対象品の測温部寸法

分 類	校正装置	校正対象品測温部の寸法 ^{※2}	
		外径	長さ
定点校正	水の三重点装置 及び氷点装置	10mm 以下	500mm 以上
	そ の 他	8mm 以下	600mm 以上
比較校正	電気炉 / 液体槽	10mm 以下	500 / 300mm 以上

※1 パラジウムについては種類、寸法等ご相談ください。

※2 -50℃～-100℃の寸法はご相談ください。